

ここが聞きたい！



答弁中の中嶋町長

一般質問とは、議員が町長など執行機関に対し、町の行財政全般について疑問点をただし、報告や説明を求めることです。

ボランティア意識の啓発と、把握の一本化は

連携から融合へ向け一元化

問 須恵町では、多くのボランティアが町づくりに貢献しています。ボランティアの把握は、各ボランティア組織と管轄の課などで行われていると思いますが、一人の人が複数のボランティア組織に入っています。これらの組織と連携し、ボランティアの把握の一本化をすることで、災害時の活用や、さまざまな取り組み

がやりやすくなると思います。社会福祉協議会と連携し、把握の一本化はできていますか。また、ボランティアの高齢化・固定化に関する対策をお考えですか。「防災とボランティア週間」には、何か活動を計画されていますか。お尋ねします。

答 中嶋町長



今村 桂子 議員

ボランティアの種類は、大きく分けると、福祉ボランティア・教育ボランティア・災害ボランティア・健康福祉課・社会福祉協議会・教育委員会・まちづくり課・総務課などが行政の窓口となっています。

一元化には、15年ほど前にいろいろな取り組みがありました。が、なかなか難しい問題があり出ていません。名簿の相互融通性などは必要だと思いますので、今後、総務課を中心に名簿等の整理を行います。また、窓口を一本化し、連携から融合へ向け一元化を図ります。

活動については、それぞれの団体で研修会等が行われています。ボランティア意識の啓発推進や、関係者の連携と意識の向上を図るため、福祉のまちづくり交流会が年1回開催されています。また、ボランティア活動への参加意欲の意識調査を行ったところ、62・2%と高い関心を示す数字でした。



福祉のまちづくり交流会

環境美化への対応を

早急に対処

問 須恵町の顔であるJR須恵中央駅のプラットホームの外側にマキの木が植樹してありますが、マキの木が茂りすぎて、木とフェンスの間が詰まって困っています。6月と11月に、町に剪定が要請されていますが、何の対応もなされていません。是非とも正月前の対応を求めます。

答 安河内都市整備課長

高年事業団まで、トヨタモータープールから先など、今年1回の草刈りがあっただけで、草が伸び放題になっており、空き缶、お菓子の袋、弁当の空き箱などが散乱して見苦しい限りです。草刈りが終了すれば、ゴミの散乱もなくなりま

す。是非とも早急な対応を求めます。

います。

近年は作業量が増加傾向にあります。道路交通や歩行者の安全な通行の妨げになる場所などについては、重点的に作業を進めています。

御指摘の場所については早急に対処し、除草後は、地域振興課が作成しているごみ捨て禁止等の標識を設置する予定です。



田原 重美 議員

マキの木は、須恵中央駅の開設時に、隣接する住宅側の目隠し対策としてJR用地に植栽されたものです。木の管理については協定を結び、町が管理することになっていきます。軌道敷内を作業する場合は、列

JRと協議し、列車に対するJRの監視員を配置することになっており、庭木のように頻繁に手入れすることは出来ません。協議の結果26年1月に剪定作業を行うことにしています。環境美化作業については、環境整備作業員7名が、道路パトロールや道路の補修・側溝清掃・草刈り・街路樹の剪定・不法投棄ごみの回収等多岐にわたる作業に従事して



対処前の状況

